

# 取締役会議長メッセージ



健全なガバナンスを発揮して  
新東工業の進化を後押ししていきます。

社外取締役 取締役会議長

上田良樹

## 中期経営計画について

2024年度から中期経営計画「共創」がスタートしました。前中期経営計画の「Plus」では、お客さまから選ばれ続けることをテーマに様々なプラス戦略が実行されましたが、その中でも最大の案件がフランス・Elastikos社の買収です。欧州・北南米を中心に投射材事業を展開する同社を組み入れることによって表面処理分野の世界No.1を目指す戦略投資であり、正式に2024年4月に株式譲渡が完了しました。地政学リスクが増大し世界市場の分断が進む中、将来成長に備える戦略プロジェクトであり、中期経営計画の中核を担う最重要案件です。速やかに一体経営を実現し、事業シナジーを最大発揮できるよう加速していかなければなりません。取締役会で執行状況をモニタリングし、社外取締役もそれぞれの知見、経験をベースに積極提言して、当社の企業価値最大化に努めてまいります。また、目標とする売上高 EBITDA 比率 8%以上達成のためには、徹底的にムダを省き、効率を上げて、足場を固めることが必須です。これについては、社内取締役が率先垂範してプロジェクトを立ち上げ、売価の見直し、固定費の削減、変動費の見直し等、細目まで深掘りし収益改善活動を展開しています。取締役会で進捗状況をモニタリングし、さらなる改善に向けて議論を重ねています。社員一人当たりの削減目標まで設定する草の根活動になっており、地歩を固めながら着実に進んでいます。

## 事業ポートフォリオの見直しと選択と集中

企業価値向上のための新規事業は必要ですが、経営資源は有限です。四囲の環境が急速に変化する今こそ、将来を見据えた事業ポートフォリオの見直しと再構築が必要です。資本コストに見合った収益を上げているか、今後の成長が見込めるか、過去の成功体験を捨てて客観的視座で各事業を見直し、果断に選択と集中を推し進めなければなりません。数年先のアクションプランではなく、10年、20年先の当社のあるべき姿を見据えて事業ポートフォリオを策定し、そのゴールに向けた施策と時間軸を設定してPDCAサイクルを回して

いくことが肝要です。これは全てのステークホルダーに影響を及ぼす重要事項です。ガバナンスの観点から社外取締役も協働し、取締役会で議論を重ねた上で方針を策定していきます。変化をチャンスと捉えて英断し、次世代に向けた進化作業を推し進めてまいります。

## 人的資本の拡充と活性化について

新東工業は9年後の2034年に創立100周年を迎えます。企業は、将来にわたり事業を継続していく責務を負っています。当社は「素材に形をいのちを」を事業領域とし、環境の変化に合わせてビジネスモデルを進化させてきました。一方、当社をより強く良い会社にするために、会社を支える人的資本の拡充と活性化が不可欠です。人材ではなく「人財」です。次世代人財を育成し、サクセッションプランを策定していくことが必要です。また、女性管理職の登用など多様性を尊重し、人的資本の拡充を図っていくことも必要です。人は腹落ちしないと動きません。双方向コミュニケーションにより職場が活性化し、会社が目指している姿やパーパスを共感してこそ共創が進みます。指名報酬委員会や取締役会で進捗状況をモニタリングし、議論を通じて実効性を上げていきたいと考えます。当社には長年にわたり蓄積した先端技術と数多くの有為人財があります。健全なガバナンスを発揮して当社の進化を後押ししてまいります。

## 取締役会議題の構成（2024年度）【開催回数：16回】

